

令和4年度戦略的芸術文化創造推進事業 採択団体一覧（50音順）

課題（i）我が国の文化芸術による国家ブランドの構築と経済的価値等の創出や国際発信力を高めるための新たな展開に関する取組

1	団体名	上野の森バレエホリデイ実行委員会	採択額（千円）	50,000
	事業名	「上野の森バレエホリデイ」		
	【事業概要】	<p>主催：〈上野の森バレエホリデイ〉実行委員会主幹事：公益財団法人 日本舞台芸術振興会 参画団体：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、一般社団法人日本バレエ団連盟協力：公益財団法人 東京都歴史文化財団 東京文化会館企画・制作：公益財団法人 日本舞台芸術振興会企画協力：バレエチャンネル期間：令和4年4月29日（金・祝）・30日（土）・5月1日（日）会場：東京文化会館東京文化会館 大ホール公演① 東京バレエ団「ロミオとジュリエット」（団体初演）日時：令和4年4月29日（金・祝）16：00、4月30日（土）14時00分、5月1日（日）14時00分会場：東京文化会館 大ホール 対象：小学1年生以上振付：ジョン・クランコ 音楽：セルゲイ・プロコフィエフ 装置・衣裳：ユルゲン・ローゼ出演：沖香菜子、柄本弾、足立真里亜、秋元康臣、秋山瑛、池本祥真、東京バレエ団指揮：ジェームズ・タグル 演奏：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団料金：S席 ¥13,000、A席 ¥11,000、B席 ¥9,000、C席 ¥7,000、D席 ¥5,000、E席 ¥3,000 U25シート ¥1,500</p> <p>【東京文化会館 大ホール イベント】・東京バレエ団 公開レッスン：プロのバレエダンサーが日々行っているレッスンを公開。（無料）・バックステージ・ツアー：大がかりなオペラやバレエを上演できる劇場・東京文化会館。その圧巻の舞台裏をめぐるスペシャルなツアー。（無料）</p> <p>【東京文化会館 大ホールホワイエ】・バレエマルシェ：バレエに関する素敵なアイテムや可愛いバレエ・グッズが大集合。“バレエ”をキーワードに、楽しくショッピング。（入場無料）</p> <p>【東京文化会館 小ホール イベント】・バレエひろば：バレエに関わるプロフェッショナルたちが登場。さまざまな角度からバレエが楽しくなるトークやレクチャー。（有料）・はじめてのバレエ・レッスン：初めてバレエに挑戦する子どもたちを対象にしたレッスン。（有料）・ダンス&amp;クリエイション2022：ダンサーが自分たちで創作したオリジナルの作品を上演する、恒例の人気企画。（無料）・大人のためのやさしいバレエ・ストレッチ：覚えて帰って毎日できる、簡単に効果的なストレッチを紹介。（有料）・OSK日本歌劇団 小規模公演とワークショップ。（有料）</p> <p>【オンライン・ホリデイ】・舞台映像 配信日本バレエ団連盟に所属する各バレエ団の貴重なバレエ公演などの映像を配信。・映像配信 舞台の仕事（舞台監督、照明、衣裳、音響など）・映像配信 日本のバレエ団を探ろう。</p>		
	参考URL	https://balletholiday.com/		
2	団体名	クリエイティブアイランド中之島実行委員会	採択額（千円）	5,000
	事業名	「水辺都市のユニークベニューを活用した国内最大級のネットワーク事業 クリエイティブアイランド中之島-創造的な実験島-」		
	【事業概要】	<p>◆「創造的な実験島」としての中之島ブランディング・プロジェクト</p> <p>中之島にある個々の文化施設や文化資産の存在はすでに名高いが、これらが東西約3kmの島（中州）に集結していることは、あまり注目されてこなかった。そこで、2022年2月の中之島の新たな文化拠点「大阪中之島美術館」の開館をきっかけに、これら文化拠点が連携した様々なクリエイティブコンテンツの実施、プラットフォームメディアの構築により中之島の既存資源の再価値化を図り、「国を代表する文化エリア・中之島」へのブランディングを目指す。</p> <p>◆将来構想「中之島学術芸術祭」（仮称）に向けた試行プログラム</p> <p>「中之島学術芸術祭」（仮称）は、中之島の14の文化拠点を「文化パビリオン」に見立て、共通テーマをもとに各館の資源を活用した企画を定期的実施する（展覧会、映像上映、レクチャー、パフォーマンス等）。</p> <p>さらに、中之島公園や水辺、公開空地なども含めることで規制緩和を推進し街全体を芸術祭の場として変容させ、国内外から人を呼び込む場としていくことを目標としている。中之島エリアを我が国固有数の創造的拠点とする文化芸術特区化への機運醸成を図る。</p> <p>①文化資産を活かしたエクステンジナイト&amp;デイツアープログラム企画・実施 ②ユニークベニューを舞台にしたアーティストによるクリエイティブコンテンツ ③包括的に情報発信するプラットフォームメディア</p>		
	参考URL	https://nakanoshimalab.jp/		
3	団体名	株式会社サイ	採択額（千円）	10,900
	事業名	「世界を見る、日本を見る」		
	【事業概要】	<p>①「コスモス」-日本・ポーランド国際共同制作事業株式会社サイ・小池博史ブリッジプロジェクトとポーランドのグロトフスキ研究所が2022年9月から2023年2月にかけて国際共同制作を行う。ポーランドの代表的な作家ヴィトルド・ゴンプロヴィッチの小説「コスモス」を舞台化し、小池博史独自の表現で再構築した作品を生み出し、日本・ポーランドのコラボレーション企画としてグロトフスキ研究所で初演を行う。また本作品は2025年に最終形を迎える「火の鳥プロジェクト」の創作過程の第一弾でもある。【日程】2022年9月14日～9月16日ワークショップ／グロトフスキ研究所ナ・グロプリスタジオ；2022年12月29日～30日デザイナー、音楽家、制作打ち合わせ；2023年1月4日～2月14日稽古-グロトフスキ研究所ベーカーリーパフォーミングアーツセンター；2月15日～16日仕込み、ゲネプロ／グロトフスキ研究所ベーカーリーパフォーミングアーツセンター；2月17日（金）、18日（土）19：00公演／グロトフスキ研究所ベーカーリーパフォーミングアーツセンター【演出】「コスモス」ヴィトルド・ゴンプロヴィッチ（ポーランド）【キャスト・スタッフ】演出・脚本・振付：小池博史原作「コスモス」（ゴンプロヴィッチ）出演者：松島誠（日本）、今井尋也（日本）、福島梓（日本）、グロトフスキ研究所（ポーランド）美術・映像：ヴォイチェク・カペラ（ポーランド）音楽：ヴァツラフ・ジンペル（ポーランド）衣裳：ジュスティナ・ジスト（ポーランド）照明：ボグミル・ペルウィズ（ポーランド）演出助手：黒田麻理恵（日本）ツアーマネージャー：穂坂裕美（日本）【実施体制】共同主催：小池博史ブリッジプロジェクト（株式会社サイ）グロトフスキ研究所助成：アダム・ミツキエヴィチ・インスティテュート後援：外務省、在日ポーランド共和国大使館、在ポーランド日本国大使館</p> <p>②「コスモス」講演会日本とポーランドの芸術文化関係者とのネットワークを拡大するため、小池とポーランドの文化関係者・批評家との対談や日本とポーランドの文化に造詣の深い講師を招いての講演会を創作期間中グロトフスキ研究所と日本美術・技術博物館マンガにて開催する。【参加者】登壇者（4人）：小池博史（演出家）、他3人司会者（1人）</p> <p>③「コスモス」アンケート調査報告書作成ポーランド語、英語版のアンケートを準備し、公演終了後、来場者に回答を求める。団体鑑賞企画で来場した中高生には専用のアンケートを作成し、作品の感想を書いてもらう。アンケート全体の調査結果を集計して報告書を作成する。</p> <p>④「叫びとささやき」&amp;小作品「オデュッセウスの苦悩」-マレーシア・シンガポール・インドネシア現地調査2023年度火の鳥プロジェクトii「叫びとささやき」東南アジア、アジア太平洋と日本の連携による国際共同プロジェクトに向けて、現地調査（劇場、稽古場視察等）、および公演の出演者オーディションを行う。</p>		
	参考URL	https://kikh.org/		

4	団体名	公益財団法人新国立劇場運営財団	採択額（千円）	66,400
	事業名	「新国立劇場によるオペラを通じた国家ブランドの構築と国際発信力向上事業」		
	【事業概要】	<p>新国立劇場は日本発の良質なオペラの国際展開を通して我が国の国家ブランドの構築に資していく。そのためにはまず、海外での上演を視野に入れた世界水準のオペラ作品や日本独自の良質な作品が必要である。同時に海外での上演に必要な英語字幕等に対する試みや、公演資料の整備も必要となる。また積極的に国際広報宣伝活動を行うことにより、日本発のオペラや新国立劇場のイメージを形成していく。</p> <p>令和4年度においては、国際共同制作であるオペラ「ボリス・ゴドゥノフ」を制作し、その成果を積極的な国際広報宣伝活動にて海外に発信する。さらに、世界水準のオペラの公演映像を海外に向けて配信する。ネットワーク強化により広がりつつある海外劇場への売込みを行っていく一方で、インバウンドマーケットへの施策を通じ、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により訪日外国人が著しく減少する中においても、海外オペラマーケットで新国立劇場ブランドを築くことによって海外上演への素地を形成していく。</p> <p>⑦オペラ「ボリス・ゴドゥノフ」の制作  ⑧新国立劇場公演映像の配信等  ⑨国際広報宣伝の充実  ⑩インバウンド対策  ⑪新国立劇場オペラの英語字幕化  ⑫ネットワーク強化・次年度以降事業の準備</p>		
	参考URL	https://www.nntt.jac.go.jp/opera/		

5	団体名	公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団	採択額（千円）	35,900
	事業名	「日本発バレエによるインパクト創出事業」		
	【事業概要】	<p>国内外で絶大な人気を誇るゲーム「ドラゴンクエスト」を題材としながら高い芸術性を備えたバレエ「ドラゴンクエスト」を国際的な発信力を持った日本を代表するバレエ作品として発展させるものである。ポップ・カルチャー（ゲーム）とハイ・カルチャー（バレエ）という分断されがちな2つのジャンルが融合した作品だからその強みと世界最大規模の日本文化の祭典「ジャパンエキスポ」や株式会社スクウェア・エニックス等民間企業との協力関係を最大限に活用しながら、舞台芸術の概念を超えたエンターテインメントとして、ブランドの確立を目指す。</p> <p>取組①舞台芸術の枠にとらわれない新作バレエ「ドラゴンクエスト2（仮題）」の制作  取組②国内外に向けたプロモーション展開  ・ジャパンエキスポへの参加 2022年7月14～17日（パリ・ノールヴィルバンド展示会会場）  ・ゲーム会社との共同制作映像コンテンツの活用  ・イベント等への出演  取組③ゲームとのコラボレーションの推進</p>		
	参考URL	https://www.sdballet.com/		

6	団体名	公益財団法人東京都歴史文化財団	採択額（千円）	5,500
	事業名	「"Born Creative" Festival 2022」		
	【事業概要】	<p>「ボーン・クリエイティブ」とは、「人間はみな生まれながらにクリエイティブだ」という意味。世界的に活躍する作曲家 藤倉大が取り組んできた子供たちへの作曲教室を通じて感じたことは、「子供の時は皆新しい音楽、新しい音を作るのが好き。しかし、なぜか育っていくうちに、その創造性が失われていく。」ということだった。音楽は既存のルールにのっとって優劣を決めるようなものではなく、もっともっと自由でのびのびとあるべきではないか、それが「ボーン・クリエイティブ」の精神である。この企画を通して、音楽に対する固定観念を打ち破り、親しみやすい形式で創造性あふれる音楽を提供することにより、多くの人々が「新しい音楽」に親しみ、芸術創造活動の基盤として欠かさないこれからの聴衆の開拓を目指す。また、あらゆる人々に生まれながらにもっている創造性に気づかせ、人間の創造活動を活性化するために音楽が果たす役割を広めていくことを目的とする。</p> <p>①ボンクリ・フェス2022  赤ちゃんからシニアまでを対象とし、現代音楽、電子音楽、即興音楽など異ジャンルの音楽を藤倉大のボーン・クリエイティブな感性によりシャッフルし、ジャンルを越えた音の冒険として提供する。館内各所でワークショップやアトリウムでの無料コンサートを行い、コンサートホールでは出演アーティスト勢揃いのスペシャル・コンサートを開催する。</p> <p>《日程》2022年7月15日（金）、7月16日（土）11時～21時（スペシャルコンサート 16日14時開演）  《会場》東京芸術劇場 コンサートホール ほか館内各所  《スペシャルコンサート チケット料金》一般席 3000円（高校生以下 1000円）  《参加アーティスト》  出演者：アンサンブル・ノマド（指揮：佐藤紀雄）、アン・ランツィロッチ（ヴィオラ）、アンサンブル・スリー（ジョエル・ブレナン（トランペット）、ドン・インメル（トロンボーン）、ケン・マレー（ギター））、佐藤紀雄（ギター）、山下俊輔（ギター）、ヤン・バング（エレクトロニクス）、エリック・オル（エレクトロニクス）、アイヴィン・オールセット（ギター）、八木美知依（箏）、藤倉大（エレクトロニクス）ほか、国内外ソリスト数名（現在出演交渉中）  《スペシャル・コンサート プログラム》  藤倉大／ヴィオラ協奏曲（世界初演）、藤倉大／THREE（日本初演）、大友良英／新作、PUNKT Live Remix（ノルウェーの即興音楽祭PUNKT出演のアーティストによる即興セッション）、久石譲／揺れ動く不安と夢と球体、アン・ランツィロッチ／beyond the accident of time（日本初演）、ほか夜の電子音楽コンサート「大人ボンクリ」、ワークショップ・コンサート「ヴィオラの部屋」「ノマドの部屋」「オーストラリアの部屋」「プンクトの部屋」、アトリウムでの無料コンサート、「電子音楽の部屋」（監修：檜垣智也）  ※ワークショップコンサートは1プログラムにつき1000円を別途入場料として設定予定</p>		
	参考URL	https://www.borncreativefestival.com/		

7	団体名	公益財団法人東京二期会	採択額（千円）	54,500
	事業名	「日本のオペラから世界のオペラへ ～2018年から2020年を経てその先へ～」		
	【事業概要】	<p>「日本から発信する世界レベルのオペラ」創造のため、5年間の活動を通じて、国際化に向けたプロジェクトを海外の劇場と共同制作する。本年度は、フランスとの共同制作「パルジファル」の公演事業に加えて、「蝶々夫人」の共同制作先での公演も実施され、人材輸出を通じてオペラの発信地としての日本を世界に向けて掲げていく。</p>		
	参考URL	http://www.nikikai.net/index1.html		

8	団体名	公益財団法人日本オペラ振興会	採択額（千円）	40,300
	事業名	「ベルカントオペラフェスティバル イン ジャパン2022」		
	【事業概要】	<p>日本でのオペラ公演については新国立劇場、当会らを初めとして招聘公演から市民オペラに至るまで上演自体は頻繁に行われてはいるが、世界から注目を集めるトップレベルの上演が常時行われているとは言い難い現状である。現在の世界のオペラの潮流は有名歌劇場での著名なオペラ上演のみではなく、より先鋭化しており、忘れられていたバロックオペラやベルカント・オペラの高度な復活上演にも注目が集まっている。そこで公益財団法人日本オペラ振興会では現在世界的に注目されているイタリアのヴァッレ・デイトリア（マルティーナ・フランカ）音楽祭と提携し、世界のオペラ界を牽引しメトロポリタン歌劇場等数多くのオペラハウスで活躍している指揮者ファビオ・ルイーゼをはじめとして、一流の演出家、コレペティールや歌手を招聘交流することによるトップレベルの公演を実施する。体格では劣るが緻密で勉強熱心で協調性もある日本人歌手にとって実はバロックやベルカント・オペラは大変向いており、世界トップクラスのオペラ歌手を輩出することが可能で、そのための国際的な活躍の機会提供が必須となっている。従ってこの音楽祭との提携により日本の首都圏のみならず地方中核を含めて、恒常的に日本でのオペラフェスティバル公演を実施することにより世界的歌手を生み出す土壌を作り出したい。また近年中国と韓国ではオペラ歌手の実力向上が急速に進んでおり意欲的な提携オペラ上演も行われ始めているがその目は、主に欧米に向いてしまっている。2021年東京オリンピック・パラリンピックに当たり、この機会にこそ日本が率先して日中韓と欧米との連携を深めるとともにその軸となるべきである。このフェスティバルにより世界トップクラスの上演が可能な体制を創り出したい。</p> <p>7 演目を盛り込んだフェスティバル</p> <p>①オペラ「オテッロ」全2幕 ロッシーニ作曲 原語上演字幕付き  ② オペラストーディオ実施 2022年12月1日～2023年1月22日  ③ オペラストーディオコンサート（アカデミー参加者の成果発表・無料公演）  ④ オペラ演奏会形式コンサート「パリのジャンニ」ドニゼッティ作曲  ⑤BOF2022シンポジウム「ロッシーニのオペラ・セリア、ナポリのための作品」  ⑥バロックコンサート  ⑦ オペラガラコンサート</p>		
	参考URL	: <a href="https://www.jof.or.jp/">https://www.jof.or.jp/</a>		

9	団体名	公益社団法人日本芸能実演家団体協議会	採択額（千円）	3,600
	事業名	「東京アート&ライブシティプロジェクト」		
	【事業概要】	<p>観光庁2019年調査によると、訪日観光客の日本文化への関心度は高いものの舞台芸術についての認識度、さらに訪日中の舞台芸術情報の接触機会はかなり低い。日比谷・銀座・築地には、能楽から江戸の歌舞伎、近世芸能、そして明治以降日本で親しまれている様々な劇場、ギャラリー、映画館など世界に類を見ない文化芸術、さらにグルメ、ファッションも世界の最先端が揃う多角的な集積が形成されている。この比類なき日本固有の価値を有する貴重なこのエリアを「東京アート&amp;ライブシティ」として捉え、多様な選択肢を今まで行われてこなかった多言語WEB発信、国内での認識向上を高める多様な取り組みにより、「東京アート&amp;ライブシティ」の名称を浸透させることを通し、日本の文化芸術の魅力を全国に示し、日本の芸術集積として世界に発信できる国家的ブランドの確立を狙うものである。アフターコロナを期し、4年間の実績を基に芸術集積を観光事業者との連携を通じて発信する体制を初めて整える。</p> <p>①連携公演（日比谷フェスティバル/歌舞伎座ギャラリー-木挽町ホール/東京国際映画祭）  ②共同発信・芸術観光事業  ③主催公演（能楽堂/王子ホール）  ④主催イベント（ギャラリー・ツアー/ギャラリー・スタンブラー）  ⑤広報 WEB、SNS  ⑥委員会（■幹事会、●総会）</p>		
	参考URL	: <a href="https://www.artandlive.net">https://www.artandlive.net</a>		

10	団体名	公益財団法人日本舞台芸術振興会	採択額（千円）	40,000
	事業名	「ゴールド・メダル・プロジェクト」		
	【事業概要】	<p>「バレエ」はいまや日本が世界のトップレベルで闘える国際競争力をもった強力な文化芸術コンテンツとって過言ではない。当団は世界のバレエ市場において、指折りの公演実績と評価を有していると認められている。当団は日本のリーディング・カンパニーとして、当団のみならず広く日本のバレエの価値を高め、世界に向けて魅力的なブランドとして確立させたい。そのためにはさらに国内外での発信力を高め、世界の主要バレエ団と互角に渡り合える条件、「魅力的なレパートリーの拡充」・「ダンサーの育成と発掘」・「稼げる力」を確立し、芸術面・財政面・集客面で安定した公演活動ができる基盤をつくることが重要だ。</p> <p>①プロジェクト①【世界トップレベルのゴールドメダルプロジェクト「ラ・バヤデール」】  ②【東京バレエ団 日本人新進振付家育成プロジェクト「コレオグラフィック・プロジェクト」】（仮称）  ③【映像配信活用プロジェクト】</p>		
	参考URL	: <a href="https://www.nbs.or.jp/">https://www.nbs.or.jp/</a>		

11	団体名	ふじのくに野外芸術フェスタ実行委員会	採択額（千円）	20,700
	事業名	「駿府城芝居」その2 世界の芸術愛好家のデスティネーションへ＝演劇の都静岡×歴史×農芸×工芸		
	【事業概要】	<p>戦国末から江戸幕府の成立というエキサイティングな歴史を秘める駿府城公園に仮設野外舞台を設置し、『駿府城芝居』という“日本の春の名物”を誕生させることにより、世界トップレベルの舞台芸術を都市ブランディングにつなげ、〈演劇の都 静岡〉の魅力国内外に発信する。一流の芸術鑑賞が最高の自然景観の中で行える場所は世界でも珍しく、さらに食文化や伝統工芸に逸品とも出会えるパッケージ化を行うことにより、国内外の芸術愛好家層にヒットするデスティネーションとしての静岡を確立する。</p> <p>①舞台製作・公演 ふじのくに野外芸術フェスタ 『ギルガメッシュ叙事詩』 台本・演出：宮城聡（ラピス・ラズリ版「ギルガメシュ王の物語」月本昭男訳による） 音楽：棚川寛子 人形デザイン：沢則行 出演：SPAC 主催：ふじのくに野外芸術フェスタ実行委員会 協力：静岡市 日時：令和4年5月2日（月）～5日（木・祝） 開演18:40 4回公演 会場：駿府城公園紅葉山庭園前広場 特設会場 演出家宮城聡は3年間に及ぶ構想の末、ブラハ在住の人形劇師・沢則行と手を携えてこの叙事詩の舞台化に挑むこととなった。本作は、フランス・パリのケ・ブランリー美術館クロード・レヴィ＝ストロース劇場から委嘱を受け、2022年3月にパリで初演、本事業が日本初演となる。俳優の身体・台詞・生演奏・人形が一体となって、この人類最古の物語に新たな命をふきこむ。</p> <p>②専門家委員会・フィードバック 静岡県を担当する地域連携DMOである静岡ツーリズムビューロー-TSJ（Tourism Shizuoka Japan）と連携し、令和3年度事業の成果として出来上がった海外向けPR動画を、ヨーロッパを中心としたTSJの提携拠点で発信、現地旅行会社との商談を行う。 静岡県立大学ツーリズム研究センター大久保あかね副センター長らによる観光分野の専門家による検討委員会を組織、5年後の姿を見据えた道筋を検討する。2年目となる令和4年度は、前年度に指摘された課題・フィードバックを反映し、よりグローバルな視点で「演劇の都静岡」を捉える道を検討する。</p>		
	参考URL	https://festival-shizuoka.jp/		

12	団体名	株式会社 p r e c o g	採択額（千円）	22,800
	事業名	「バーチャル身体祭典 VIRTUAL NIPPON COLOSSEUM 2023」		
	【事業概要】	<p>1) 日本文化を身体視点から切り取り保存することを目的とする 新進芸術・芸能・伝統芸能などを通貫して「現代の日本を代表する身体」の3Dデータとモーションデータを記録するアーカイブを構築する。</p> <p>2) 複数の専門家による「オフィシャルイノベーター（審査委員会）」を組織 演出家/振付家・研究者・メディアアーティストなどの専門家による「オフィシャルイノベーター（審査委員会）」を選任し、多くの人の知見が共有されるよう公演アイデアを開発する。その中から芸術性、芸能性、実現性、話題性などを考慮し、下記選定基準のもと公平に選抜したプラン、演者で新作創作を行う。現代のバーチャルとリアルにまたがる身体感覚を前提にした新たな表現の可能性を切り拓くことを目指す。新たな利用ニーズを探り、未来への仮説を提唱する。 公演アイデア（下記項目を満たす内容の作品を創作する） ・演者の身体能力や表現力が遺憾なく発揮される内容である ・デジタル技術や情報環境を活用した新しい公演形態を模索するものである ・劇場等で行われるリアルでのパフォーマンス鑑賞が困難な人々に届けられる形式である ・技術・予算面において十分に実現可能な形式である・無形文化の保存に寄与する ・各分野の日本を代表する身体として発信できる</p> <p>3) バーチャルフェスティバルを継続開催。年1回のカンファレンスや関連ワークショップを実施する。 作品発表とアーカイブ公開を年に1回実施し、身体デジタルアーカイブとその利活用に関する理解を深め周知を広げる。文化のデジタルアーカイブに関して、年に1度動向を俯瞰しするよう調査とカンファレンスを行う。アーティスト、アーキヴィスト、リサーチャー、開発者、次世代ユーザーなどのネットワークを作り出すことにより、さらなるデジタルアーカイブ技術の発展や日本文化の発信に寄与する。学生や子どもを対象にした講座を開催し、デジタルアーカイブデータのこれからのユーザーを育成することを目指す。また、収録したデータをデジタルアーカイブし、後世に残す。遠隔からも鑑賞できる特徴を活かして、海外への発信も強化していく。 5ヵ年計画の期間を通して入場料収入や協賛金などを通じて事業全体が自走する仕組みを目指していく。</p> <p>4) プロジェクト全体を通じて、社会包摂のポリシーを提唱する。 当プロジェクトで収録する身体に関しては障害の有無にかかわらず偏見のない視点で選定を行う。またフェスティバルや公演の実施にあたっては、仮想空間の特性を活かして、寝たきりの人や外出ができない人など含めた様々な人が参加できるインクルーシブなイベントを提唱し、舞台芸術における社会包摂の視点の重要性をつたえ、ひいては社会全体へのメッセージとして発信する。</p>		
	参考URL	https://precog-jp.net/		

13	団体名	一般社団法人MUTEK Japan	採択額（千円）	22,800
	事業名	「MUTEK.JP 電子音楽とデジタルアートの祭典」		
	【事業概要】	<p>MUTEKは、世界7拠点（モントリオール、メキシコシティ、バルセロナ、東京、ブエノスアイレス、サンフランシスコ、ドバイ）のグローバルなネットワークにもとづく国際的な電子音楽とデジタルアートのフェスティバル等を開催している。MUTEK.JPは一般社団法人MUTEK Japanの自主事業として平成28年（2016年）から東京でフェスティバルを開催している。2020年までの5回の自主開催実績を踏まえ、2021年の「MUTEK.JP 2021 edition 6」より、以降5か年を国の戦略的芸術文化創造推進事業の一環、国の委託事業として開催することにより、官民連携による新たな芸術文化創造・振興の運営セクターのモデルを構築、その知見を社会還元する。令和3年度の事業採択に引き続き、電子音楽とデジタルアートの祭典「MUTEK.JP 2022 edition 7」を実施する。フェスティバルがデジタルクリエイティビティに係るトップイベントとして国内外に認知され、我が国が最新のテクノロジーを融合した新たな文化芸術の国際的なシーンにおいて新型コロナ以降の社会の先導的な役割をあらためて示す国家ブランディングに資することを目的とし、令和3年度採択の事業目標と同様に戦略的芸術文化創造推進事業に資する整合性をもった事業としてさらなる展開を試みる。また、令和3年度戦略的芸術文化創造推進事業のアンケート結果をもとに分析を行い、効果的な文化事業の発展を目指すと共に、本年度のアンケート回収率50%以上を目指す。</p> <p>①「A/Visions」 最新のテクノロジーを融合した新たな文化芸術を創造する公演</p> <p>②「Play」 新進気鋭なアーティストに焦点を当てた実験的な空間を提供するプログラム</p> <p>③「Digi Lab」 ワークショップ、レクチャー、パネルディスカッション等の教育プログラム</p> <p>④「Nocturne」 最先端な電子音楽とデジタルアートによるカッティングエッジな表現を提供するプログラム</p> <p>⑤「企画・運営」 全体企画運営、新しい芸術文化の創造・振興のモデル構築、知見の社会還元（対外連携、広報等）等</p> <p>参考URL：<a href="https://tokyo.mutek.org/">https://tokyo.mutek.org/</a></p>		

14	団体名	公益財団法人読売日本交響楽団	採択額（千円）	2,300
	事業名	「在留外国人及び訪日外国人の聴衆を獲得するための演奏会運営の新しいあり方に関する事業」		
	【事業概要】	<p>コロナ禍以前の本事業開始時点の日本では、訪日外国人旅行客の数は年々増加しているにもかかわらず、クラシック音楽の演奏会に来る外国人の数は必ずしも大きくは増大していなかった。彼らが日本のクラシック音楽の演奏会という、これまで訪れていなかった分野に興味をもつことは、訪日外国人消費額の増大に寄与するものである。また、彼らは日本の文化芸術の水準の高さを海外にアピールするための重要なインフルエンサーになりうる存在である。ゆえにクラシック音楽の演奏会に外国人の聴衆を増やすことは、経済的側面、日本の文化芸術の国際発信という双方に寄与するものであると考える。また、日本には多くのレベルの高い文化芸術団体があり、読響もその一つであると自負しているが、まだまだ個別の文化芸術団体の認知度は国際的に低く、サントリーホールをはじめとした優れたコンサートホールの方が名を知られている現状がある。日本の文化芸術は素晴らしいと外国人が認識するための一つの方法が、「日本には（例えば）読響という素晴らしいオーケストラがある」と個々の団体を認識してもらうことだと想定すると、個別の芸術団体の認知度を向上させるための取組は大変重要といえる。もちろん、上記のようなことを達成するためには、今の文化芸術団体に足りないものを明らかにしつつ、効果的な広報戦略をはじめとした演奏会運営の見直しが必要になってくる。そこで5年間を通じてその方策を確立することを最終的な目標として掲げた。</p> <p>1.読響アンサンブル・シリーズ 2.「読響アンサンブル・シリーズ」でのモニター募集及びアンケートの実施 3.外国人向け広報活動 4.演奏会運営における多言語対応の強化</p> <p>参考URL：<a href="https://yomikyo.or.jp/">https://yomikyo.or.jp/</a></p>		

【（課題i）応募・採択状況】

- ・ 応募件数： 23件
- ・ 採択件数： 14件
- ・ 採 択 率： 60.9%

※新型コロナウイルス感染防止対策等の理由により、事業内容が変更される可能性があります。

令和4年度戦略的芸術文化創造推進事業 採択団体一覧（50音順）

課題（ii）地方や離島・へき地等において、優れた文化芸術活動を鑑賞・参画する機会と社会的価値等を創出する取組

1	団体名	ウイマム文化芸術実行委員会	採択額（千円）	7,000
	事業名	「ウイマム文化芸術プロジェクト - Uymam Project - 2022」		
	<p>【事業概要】町内の漁村集落にて2年目、および新エリアで初となる住民協働型の屋外写真展プロジェクト。「土地を歩き追想するいとなみの記憶、土地の記録」をテーマに、土地の生活者のいとなみの風景や空気感を鮮明に切り取ったアマチュア写真家の山崎壽昭氏（故人）と中出満氏の写真を壁面に掲示。続くコロナ禍も考慮し、海風を浴びながら屋外を徒歩で鑑賞する展示形態を計画。展示作業には、多世代の地元住民、帰省中の大学生、地元中高生、親子、アーティスト、スタッフとが数日間かけて協働する。地域住民へのヒアリングリサーチも実施し、声としての"土地の記憶"を復活を試みる。また、山崎氏に加えて、地元住民から寄せられる古写真・資料なども展示を計画。集落住民の当事者性意識向上、芸術文化プロジェクトへの参画機会創出と同時に、「人と地域、人と人、コミュニティの絆を復活させる機会創出」も大きな目標である。徒歩周遊型によって、ウボボイ来館者や地域内外び町外観覧者が、土地に息づく文化を体感できる機会としたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●実施エリア   北海道白老町の虎杖浜地区、社台地区（両エリア共に海岸沿い、道路、寺院等）、町内商店街地</li> <li>●実施会期   30～50日間（8月初旬～10月中旬の間）を想定</li> <li>●観覧料   無料</li> <li>●提供資料   郷土写真家 山崎壽昭（故人、町内資料館所蔵）、中出満、地域住民より提供された写真資料、他</li> <li>●企画・展示監修アーティスト   奈良美智（美術家）</li> <li>●テクニカルスタッフ   川尻亮一、石川大峰、地域住民 他</li> </ul> <p>地域に残る数多くのアイヌ語地名の由来から、当時の土地の営みやウイマム（アイヌ同士や和人ととの交易）の様子、漁業や農耕、そこに暮らしてきた人々や集落の生活背景、植物や地勢からその景色を想像する。1800年代の古地図や古文献記録を糸口に、講師・参加者とが深掘り読み解く、本事業独自の体感型地域学。座学に加え、地図を片手に実地フィールドを歩き巡り、アイヌ語地名が息づいた時代へのバーチャルなダイビングを試みる。アイヌ語地名研究の専門家やアイヌ語講師を招き、フィールドワークの中でアイヌ語の学びも交える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●実施エリア   白老町内（ポロト、アヨロ周辺）/登別/千歳/苫小牧 ※予定</li> <li>●参加対象   高校生以上（※小学生は保護者同伴）</li> <li>●実施回数   2回（1日×2回または2日間連続行程）を想定 [※小雨天決行]</li> <li>●参加定員   各15～20名程度を想定（事前予約制）</li> <li>●講師候補   谷本晃久（北海道大学文学研究院 教授）/ マユキキ（アイヌ文化アドバイザー、アイヌ語講師） / 作田悟（アイヌ文化アドバイザー、アイヌ語講師） / さかもときよし（地域植生コーディネーター） ※予定</li> <li>●ゲスト講師   国立アイヌ民族博物館学芸員・研究員 1～2名 ※予定</li> </ul>			
	参考URL : <a href="https://uymam.localinfo.jp/">https://uymam.localinfo.jp/</a>			
2	団体名	株式会社サイ	採択額（千円）	5,900
	事業名	「与論・肝付・徳之島 地域主体の舞台創作・公演運営発展プロジェクト」		
	<p>【事業概要】本事業は、地方においてハイレベルな芸術鑑賞機会を拡大し、都会でしか見ることができないのではなく、地方でもその可能性があることを示し、文化芸術の地域格差解消を目的として4年間進めてきた。最終年にあたる2022年度は地域住民が主となって公演制作を行い、自立した活動ができるよう支援を図っていく。また、各地域の持つ文化の再発見・構築も目的のひとつである。3地域共に特徴的な伝統芸能や伝承が存在し、それらを後世に残す活動が行われている。与論町では地域住民による劇団が発足するなど、文化に対する関心が高い。そこで、それぞれ地元根付いた特徴的な伝統芸能や伝承芸術についてパフォーマンスを行い、地域住民が舞台芸術の活動を受け入れやすいものとし、今後の継続的な活動の可能性を広げよう。さらに、地元の町役場に協力してもらい、連携を図った事業を行うことで、2023年度以降の独立した活動を町全体で支援してもらう体系づくりにつなげる。</p> <p>&lt;クリエイションWS &amp; シンポジウム-与論&gt;</p> <p>日程：2023年1月19日～29日</p> <p>会場：鹿児島県大島郡与論町 琴平神社、砂美地来館</p> <p>内容・スケジュール：全10日間によるクリエイションワークショップをプロのパフォーマー、音楽家と行う。</p> <p>19日～26日 クリエーションワークショップ</p> <p>27日 仕込み/リハーサル</p> <p>28日 公演</p> <p>29日 アフタートーク&amp;シンポジウム</p> <p>内容：以下のテーマについて与論町教育委員会、与論町副町長 久留満博氏とトークシンポジウムを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・離島における文化芸術と今後</li> </ul> <p>登壇者：小池博史、与論副町長、与論町教育委員会、沖隆寿</p>			
	参考URL : <a href="https://kikh.org/">https://kikh.org/</a>			

3	団体名	三陸国際芸術推進委員会	採択額（千円）	5,000
	事業名	「三陸国際芸術推進事業2022」		
	【事業概要】	<p>●三陸芸能短期留学（アーティスト・イン・レジデンス（A.I.R））</p> <p>三陸地域の新たな文化体験事業の開発を目的に、国内外から芸能を習う芸術家を集める三陸芸能短期留学等について企画開発する。また本芸術祭とリンクさせ、相乗効果を生み出す。現代アーティスト等が三陸各地に滞在し、郷土芸能を1週間程度習う短期留学事業。今年度は、現代アーティストが実際に三陸各地に1週間程度滞在し、郷土芸能を習いながら、自身の作品を創作する。</p> <p>（1）開催期間：2022年11月～2023年1月（予定）</p> <p>（2）開催場所：5地域を想定（八戸市、階上町、野田村、大槌町、山田町）</p> <p>（3）募集対象：現代アーティスト等（ジャンルは問わず）5組程度</p> <p>（4）募集期間：7月～8月（予定）</p> <p>（5）選考会：9月</p> <p>（6）選考メンバー：開催地担当者及びプロデューサー、ディレクター、アドバイザー等</p> <p>●三陸芸能マッピング事業</p> <p>三陸地域の芸能団体の国際的な情報発信を目的に、これまで作成してきた三陸芸能のマッピングをさらに充実させ、三陸芸能への関心を引き出す。今年度を最終年とし、情報をさらに収集しマッピングを完成させる。</p> <p>①調査目的：三陸の郷土芸能に関する情報を国内外へ発信するため。</p> <p>②調査内容：郷土芸能団体及び2022年度のイベント等の情報。（予定）</p> <p>③調査期間：2022年7月～2023年2月</p> <p>④調査方法：現在写真やプロフィールを掲載できていない各地域の芸能団体の情報収集。及び2022年度に開催される芸能関連イベント等についても各自治体及び郷土芸能団体、郷土芸能の連絡・団体協議会に調査票を配布し、調査する。</p>		
	参考URL	https://sanrikuarts.com/		

4	団体名	一般社団法人全国専門人形劇団協議会	採択額（千円）	1,900
	事業名	「幼稚園・保育園等『幼児対象専門人形劇による巡回公演』～幼児に本物の芸術体験を～」		
		<p>本事業では、現時点で人形劇鑑賞機会に乏しいと考えられる1道28県より当該年度の重点対策地域を選定して、幼稚園・保育園等に、幼児の鑑賞に特化した優れた専門人形劇作品を派遣します。</p> <p>本事業で達成する優れた文化芸術活動を鑑賞・参画する機会の創出が、当該地域の豊かに児童が育まれる土壌の創出に寄与することを検証するため、実施園及び実施園所在地域における事業継続の推移を事業終了後5年間に渡り調査して、その成果を今後の児童の全国的な文化芸術体験機会格差の是正に活かしていきます。</p> <p>※以下は上演会場候補。新型コロナウイルス感染拡大等により実施が困難となった場合、上演会場や日程の変更により対応。</p> <p>●ばびべ劇場「三枚のおふだ」 脚本・演出／小川耕作 出演／2名 6月20日(月)～6月22日(水) 福島県内幼稚園・保育園等 計3回公演 福祉分野との連携を継続、さらに当該ジャンルで先駆けてライブストリーミングを実施するなど、多様な活動を展開する劇団。 6月20日(月)福島県二本柳幼稚園(福島市)／6月21日(火)会津慈光こども園(会津若松市)／6月22日(水)慈光第二こども園(会津若松市)</p> <p>●パベツシアター「らせんくらぶ「ラーくんときごっこ」 原作／中むら昌タカ 脚本・演出／つげくわえ 出演／4名 8月26日(金)・10月14日(火)・10月25日(火) 滋賀県内幼稚園・保育園等 計3回公演 自身が身体障がい有する人形遣い中むら昌タカを中心とする、幼稚園や保育園で楽しめるインクルーシブ人形劇作品。 8月26日(金)さくら坂こども園(草津市)／10月14日(金)せんだん保育園(大津市)／10月25日(火)さくら坂こども園(草津市)</p> <p>●劇団にんぎょう畑「ねずみのよめいり」 脚本・演出／川田大吉 出演／2名 6月20日(月)・11月4日(金)・12月9日(金) 群馬県内幼稚園・保育園等 計3回公演 日本で唯一の人形劇学校として機能したとらまるパベツランド出身者による、秩父を中心に活動する劇団の代表作。 6月20日(月)だいや保育園(桐生市)／11月4日(金)すぎの子幼稚園(桐生市)／12月9日(金)ららこども園(桐生市)</p>		
	参考URL	https://www.zenninkyoo.jp/		

5	団体名	株式会社東京演劇集団風	採択額（千円）	16,300
	事業名	「舞台芸術による地域活性化事業【未来誕生】」		
		<p>①長崎県五島列島の新上五島全域を舞台に、住民・子供たちが一緒に参加し、みんなが共に楽しめる舞台芸術鑑賞・体験機会を創出。舞台芸術を媒介とした住民間の交流を促す。島内各地で同時多発的に芸術プログラムを実施し、フィナーレに島民が参加する『星の王子さま』を上演する。</p> <p>実施時期 2022年8月中旬 / 実施場所 有川港ターミナル・奈良尾港ターミナルから島内全域を実施対象とする</p> <p>○一般公演『ヘレン・ケラー ～ひびき合うものたち』計2回 / 実施会場 新上五島町立奈良尾小学校・体育館（新上五島南端）、新上五島町立北魚目小学校・体育館（新上五島北端）</p> <p>○町民の参加型公演『星の王子さま』1回 / 実施会場 有川ターミナル鯨賓館ホール（参加のためのワークショップを同時開催）</p> <p>「海をこえて届け！とびうおドリームプロジェクト」</p> <p>新上五島の子供たちが発信し、全国各地、世界の子供たちが「夢」で繋がる文化交流プロジェクトを通年で実施。新上五島の小中学校に加え、日本全国50カ所、フランス・インドの教育機関が参加する。</p> <p>②熊本県内3カ所にて、2演目による演劇公演を開催。地域の人々が障害の有無や年齢を問わず誰もが活躍できる機会を創出。地域の文化施設、教育機関、福祉施設と協働し、熊本に暮らす人々誰もが共演者となる演劇祭を興す。</p> <p>○一般公演・バリアフリー演劇『ヘレン・ケラー ～ひびき合うものたち』</p> <p>小国町一般公演 会場 小国支援学校体育館 / 実施日時 11月中旬 1回</p> <p>○一般公演・バリアフリー演劇『星の王子さま』計2回</p> <p>御船町一般公演 会場 御船町立御船小学校体育館 / 実施日時 12月3日土曜日 1回</p> <p>熊本市一般公演 会場 火の君文化センター 実施日時 / 12月4日日曜日 1回</p> <p>③隠岐諸島島前の3島それぞれに赴いて、演劇公演を開催。地域住民に演劇を見る「楽しさ」を伝え、フィナーレには住民らと共に3島の魅力を詰め込んだオリジナル演劇を創作。共に見て、共に創る喜びを味わい、3島の人々が交流する契機とする。</p> <p>○『Touch～孤独から愛へ』一般公演 計1回</p> <p>中ノ島一般公演 会場 島根県立隠岐島前高等学校体育館 1回 / 実施日時 7月下旬</p> <p>○しまめぐりDOHZENオリジナル版『星の王子さま』一般公演 計2回</p> <p>西ノ島一般公演 会場 西ノ島町立西ノ島小中学校体育館・文化施設 8月20日、知夫里島一般公演 会場 知夫町立知夫小中学校体育館 8月下旬 1回</p>		
	参考URL	https://www.kaze-net.org/bunka2#c1		

6	団体名	NPO法人TOMORROW	採択額（千円）	4,300
	事業名	「文化芸術活動による地方活性化『あしたの畑』」		
<p>本活動は、京都府京丹後市間人の歴史、風土に着目し、国内外で活躍するアート（建築・工芸などの表現を含む）と食のプロフェッショナルたちが、分野を超え、都市部では得られない地域の立場から、芸術文化活動がこれからの社会で果たすべき役割や現代社会の課題を“食＋暮らし＋アート”から見直し、本来芸術の役割であろう人々の感性を恒常的に養う場を創出していく事業です。地元の住民、農業・漁業従事者はもちろん、間人を訪れてこの活動に参加する人々が、美しい風土、豊かな食文化、周囲の文化資源の魅力とともに、歴史を持つ土地で芸術文化を体験することで、美しい景色に出会える日本という風土が持つ豊かさ、地域文化を再認識し、芸術文化活動を通して人々の豊かな心を育む機会の提供、新しい文化を想像する基盤の構築を目指します。</p> <p>①特別展Ⅰ 会期：2022年10月7日（金）～11月19日（土）までの金・土・日・月曜日の11時～16時、会場：間人スタジオ 展示作品：木桶の技術を使った机と椅子、空間インスタレーション（中川周士、鳥居厚志）、音響アート作品（サムソン・ヤン）、植物の彫刻作品、紙作品（嘉戸浩、田中義久）、インスタレーション（テレジータ・フェルナンデス）、染織作品（安東陽子）、会場施工（大村工務店）</p> <p>②屋外特別展Ⅱ 会期：2022年10月7日（金）～11月19日（土）までの金・土・日・月曜日の11時～16時、会場：間人の集落にある広場（田畑） 展示作品：陶磁器作品（新里明士）、ガラス作品（佐藤聡）、食のインスタレーション（cenci、縄屋）</p> <p>③ワークショップ 開催日：未定（cenci）、未定（縄屋）、未定（新里明士）、未定（中川周士）、未定（嘉戸浩） 内容：日頃アートやものづくりに触れる機会が少ない地域の人々や子供たちを主な対象としながらも、興味を持って国内外から訪れる人々との交流を促し、活動趣旨に共感する体験を提供することを目標に、①雅楽の歴史と演奏法を学ぶ。②地域に特有の建築様式から、環境に配慮したこれからの暮らしを建築家と議論し、提案を共作する。③1つの窯で、陶磁器の器とそれで食べる地元の魚介を使った生地から作るピザ作り。④丸太から材料を切り出し、生きるために必要な道具を作る。⑤フィールドワークを通して見つけた廃材を版にして唐紙の作り方を学ぶ。</p> <p>参考URL：<a href="https://www.tomorrowfield.org/">https://www.tomorrowfield.org/</a></p>				

7	団体名	公益社団法人日本劇団協議会	採択額（千円）	10,300
	事業名	「黄金（くがに）文化再発見」		
<p>沖縄の離島・へき地で公演し、幅広い観客層に鑑賞機会の充実を図る。また、戦後76年が経過し戦争体験者が少なくなる中、学校での平和学習の機会が減っているため、演劇を通して戦争について学ぶ機会をつくり、沖縄の芸術・芸能・言葉等にふれる契機とすることで社会的価値を創出する。</p> <p>●上映会・ワークショップ（宮古島市文化ホール（マティダ市民劇場）／中央公民館） 6月23日の「慰霊の日」（沖縄県が定めた戦没者追悼と平和を祈る日）に、令和3年度にマティダ市民劇場で発表した朗読劇の映像上映会を行う。参加者から戦争証言を収集、平和学習についてディスカッションをし、あわせて宮古方言（みゃーくふつ）についてのワークショップを実施して、地域住民の本事業参加への機運を醸成する。</p> <p>●稽古・公演（宮古島市中央公民館（未来創造センター）、宮古島市文化ホール（マティダ市民劇場）／中央公民館） 地域住民に出演者・スタッフとして参加してもらいながら「知られざる沖縄戦～宮古島の戦争の話～」（仮題）の稽古をし、1月に公演を実施する。参加者・鑑賞者が沖縄の歴史や文化にふれる機会を創出する。</p> <p>参考URL：<a href="http://www.gekidankyo.or.jp/performance/2021/2021_07.html">http://www.gekidankyo.or.jp/performance/2021/2021_07.html</a></p>				

8	団体名	公益社団法人日本児童青少年演劇協会	採択額（千円）	5,400
	事業名	「全国地方・離島・へき地「共生社会実現のための児童青少年演劇公演」～コロナ禍における子どもたちの鑑賞体験機会の拡充を～」		
<p>子どもたちに「夢」と「希望」と、そして「生きる喜び」を少しでも感じてもらうために、児童青少年演劇の鑑賞体験の機会を設けます。へき地であればあるほど、子どもたちは地域の「宝」です。子どもたちを中心とした文化芸術による地域コミュニティ（共生社会）の実現・育成を図ります。子どもたちのみならず、地域住民や保護者等に鑑賞の機会を設け、子どもたちに生きる活力と希望を与えたいと考えています。それが地域の活性化に繋がると確信しています。</p> <p>●劇団風の子北海道『めっくらもっくらおんどん』（青森県 3回公演）原作・脚本-長谷川摂子 演出-なるみてるまさ 6/21（板柳町 板柳東小学校） 6/23（八戸市 函南小学校） 6/30（三戸郡南部町 名久井小学校）</p> <p>●劇団風の子『風の少年シナド』（福島・山形県 3回公演）脚本・演出-みかみかん 6/27（喜多方市 姥堂小学校） 6/29（田村市 要田小学校） 10/3（東根市 高崎小学校）</p> <p>●劇団群馬中芸『カエルの豆太』（群馬県 2回公演）作・演出-中村欽一 演出補-ふじたあさや 2学期（高崎市 多胡小学校） 10/19（藤岡市 平井小学校）</p> <p>●人形劇団ひとみ座『はれときどきぶた』（茨城・神奈川・山梨県 3回公演）原作-矢玉四郎 脚本・演出-西上寛樹 6/24（日立市 東小沢小学校） 11/19（小田原市 片浦小学校） 11/21（甲州市 大藤小学校）</p> <p>●劇団風の子中部『ギャング・エイジ』（広島・山口県 2回公演）作-阿部夏丸 脚本-いずみ凜 演出-中島研 10/24（三次市 神杉小学校） 10/25（岩国市 装港小学校）</p> <p>●劇団風の子九州『やだ、やだ あっかんべー!』（宮崎県 2回公演）作・演出-あさのゆみこ 11/16（東臼杵郡椎葉村立松尾小学校） 11/17（東臼杵郡椎葉村立不土野小学校）</p> <p>●『知覧・青春～アイ・アム・ヒア!～』（鹿児島県 4回公演）作-中村芳子・篠崎省吾 演出-永井寛孝 7/9（肝属郡肝付町 高山中学校） 10/4（霧島市 霧島中学校） 10/6（出水市 米ノ津中学校） 10/8（大島郡瀬戸内町 古仁屋中学校）</p> <p>参考URL：<a href="http://www.linkclub.or.jp/~jcta/">http://www.linkclub.or.jp/~jcta/</a></p>				

9	団体名	公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団	採択額（千円）	18,000
	事業名	「東北の夢プロジェクト2022」～文化芸術の力で東北の未来を応援する事業～		
<p>本事業は、舞台芸術のもつ「人々を集め、結び付ける力」「情報発信力」を活用して、オーケストラと東北の子どもたちが一堂に会する特別なイベントを開催することで、被災地を含む東北地方の子どもたちの未来へと進む活力となることを目的とする。2017年のリサーチでは、被災地のニーズは「内外の交流」「外部への発信」「文化芸術に触れる機会」にあると分かり、さらに震災から10年を経て、少子高齢化、過疎化による経済・文化活動の停滞など新たな課題が浮き彫りとなった。これらの課題を汲み取り、引き続き被災地のコミュニティ活性化をはかるために、各地に伝わる伝統芸能や、学校で育まれている文化活動に取り組む子どもたちを核としたコンサートを開催し、事業を媒介とした地域内外の交流促進と、活動発信の新たな場を創出する。</p> <p>① 8月12日 岩手県民会館 大ホール（岩手県） 指揮：永峰大輔 司会：江原陽子 ゲスト1 山田境田虎舞保存会 ゲスト2 黒沢尻北小学校 合唱部</p> <p>② 8月14日 福島県文化センター 大ホール（福島県） 指揮：永峰大輔 司会：江原陽子 出演：スターダンサーズ・バレエ団 ゲスト1 南相馬市立原町第一中学校 吹奏楽部 ゲスト2 郡山市第一中学校・第六中学校・郡山高校 合同合唱</p> <p>参考URL：<a href="https://japanphil.or.jp/">https://japanphil.or.jp/</a></p>				

10	団体名	株式会社B.シャンプルウエスト	採択額（千円）	4,000
	事業名	「バレエシャンプルウエスト『くるみ割り人形』全幕」		
<p>地方における芸術文化の水準向上を願い、首都圏で開催している質と同等の優れた公演を提供することで鑑賞環境の格差をなくすことを目的とする。地域の特性上、プロのバレエ公演を鑑賞する機会がなかった地方の住民に舞台芸術の魅力を伝え、地域住民の芸術鑑賞レベルの向上を目指す。IT化が進む現在、舞台芸術においても様々なメディアツールを利用して時と場所を選ばずに情報を得ることは可能だが、劇場に足を運び、生の舞台を目で耳で感じて、3次元のリアルな瞬間を体験する喜びと大切さを伝えたい。同時に、芸術活動に取り組んでいる子供たちを共演者として招き、将来を担う子供の育成を図る。また、子供たちの文化活動を紹介し、文化を通じて地域コミュニティの活動を支援する。</p> <p>会 場 伊那文化会館〔長野県〕 日 程 仕込・リハーサル11月25日(金) 本 番11月26日(土) 12:30開演 出 演 柴田実樹 川口まり 伊藤可南 土田明日香 染谷野委 土方一生 藤島光太 正木亮 他 演出振付 今村博明 川口ゆり子</p> <p>参考URL：<a href="http://www.chambreouest.com/">http://www.chambreouest.com/</a></p>				

11	団体名	有限会社ひとみ座	採択額（千円）	4,300
	事業名	「島からの発信事業 『郷土芸能によるステージ』と「人形劇ひょっこりひょうたん島」』		
<p>本事業では、各島に残る郷土芸能について特集したパンフレットを制作、(さらに新型コロナウイルス感染拡大状況を勘案して状況が許せば、地域芸能団体の実演を行い)、地域文化全体を内外に紹介していきます。また、島生活をモデルとした名作NHK人形劇「ひょっこりひょうたん島」の舞台版を公演、児童の優れた文化芸術鑑賞機会を提供します。郷土芸能を紹介する冊子配布と、プロ人形劇とのコラボレーションにより、家族三世代にわたる多様な集客を実現させ、「郷土芸能の価値普及と保存への意欲向上」と「児童の文化芸術鑑賞がもたらす文化的教育的意義の普及」という二つの課題解決の重要性を、行政と民間を含めた島全体に対して強くアピールしていきます。</p> <p>①佐渡島公演 9月4日(日) 佐渡島開発総合センター ②淡路島公演 12月24日(土) 淡路人形座／郷土芸能実演予定「淡路人形浄瑠璃」 ③牟岐(出羽島)公演 12月27日(火)海の総合文化センター／郷土芸能実演予定「出羽島小唄」</p> <p>参考URL：<a href="https://hitomiza.com/">https://hitomiza.com/</a></p>				

【（課題ii）応募・採択状況】

- ・ 応募件数： 17件
- ・ 採択件数： 11件
- ・ 採 択 率： 64.7%

※新型コロナウイルス感染防止対策等の理由により、事業内容が変更される可能性があります。

## 令和4年度戦略的芸術文化創造推進事業協力者会議委員名簿

### 【課題】

- (i) 我が国の文化芸術による国家ブランドの構築と経済的価値等の創出や国際発信力を高めるための新たな展開に関する取組
- (ii) 地方や離島・へき地等において、優れた文化芸術活動を鑑賞・参画する機会と社会的価値等を創出する取組

(五十音順)

- |       |  |
|-------|--|
| 石田 麻子 | 昭和音楽大学教授<br>独立行政法人日本芸術文化振興会<br>プログラムディレクター（調査研究）               |
| 太下 義之 | 同志社大学経済学部教授  |
| 小林 康博 | 独立行政法人国際交流基金<br>文化事業部舞台芸術チーム長                                  |
| 柴田 英杞 | 公益社団法人全国公立文化施設協会アドバイザー<br>独立行政法人日本芸術文化振興会<br>プログラムオフィサー（演劇・劇場） |
| 長野 由紀 | 舞踊評論家  |